

フェスティバルトーカーキー実行委員会  
顧問 野村 薫 公益社団法人 日本芸術家演劇団体協議会 会長、能楽師  
福原泰春 株式会社資生堂 名誉会長  
名誉実行委員長 高野之夫 豊島区長  
実行委員長 堀地茂雄 公益財団法人 新国立劇場運営財団 顧問、アサヒビル株式会社 社長  
副実行委員長 市村作知雄 NPO法人アートネットワーク・ジャパン 顧問  
フェスティバルトーカーキー エグゼクティブディレクター  
齋藤 明 豊島区文化商工部長  
東澤 昭 公益財団法人 としま未来文化財団 常務理事 / 事務局長  
委員 尾崎元規 公益社団法人 企業メセナ協議会 理事長、花王株式会社 顧問  
熊崎純子 東京藝術大学大学院国際芸術創造研究科 教授  
田中俊広 株式会社資生堂 企業文化部長  
鈴木敦子 アサヒグループホールディングス株式会社 CSR部門 ゼネラルマネジャー  
鈴木正美 東京商工会議所 豊島支部 会長  
永井多恵子 公益財団法人 センガや文化財団 理事長  
渡邊圭介 豊島区文化商工文化デザイン課長  
岸 正人 公益財団法人 としま未来文化財団 劇場開設準備担当課長  
瀧奈緒子 公益財団法人 としま未来文化財団  
あうるすぽっと(豊島区立舞台芸術交流センター) 支配人  
米原晶子 NPO法人アートネットワーク・ジャパン 理事長  
フェスティバルトーカーキー デレクター  
河合千佳 フェスティバルトーカーキー 共同ディレクター  
斎藤円花 フェスティバルトーカーキー 事務局長  
監事 田中真理子 豊島区総務部総務課長  
法務アドバイザー 攝井健策、北澤尚登(骨董通)法律事務所)

フェスティバルトーカーキー実行委員会事務局  
エグゼクティブディレクター 市村作知雄  
ディレクター 長島 博  
共同ディレクター 河合千佳  
事務局 斎藤円花  
制作 荒川真由子、松宮俊文、岡崎由実子、武田侑子、新井権策、藤井友理、  
長田崇史、四宮香吾、山縣昌雄  
広報チーフ 小倉明紀子  
広報 神永真美、細川浩伸、植田あす美、吉田幸恵  
経理 堤久美子  
総務 米原晶子、平田幸来、藤島麻希  
票券 武井和美

技術監督 寅川英司  
照明コーディネーター 木下尚己(株式会社ファクター)  
音響コーディネーター 相川 晶(有限会社サウンドウイーズ)  
アートディレクション 氏家啓雄(有限会社氏家プランニングオフィス)  
イラスト Naomi Katsu  
ウェブサイト 竹下雅哉(有限会社氏家プランニングオフィス)、株式会社Mtime  
海外広報・翻訳 ウィリアム・アンドリュース  
執筆 鈴木理映子

主催 フェスティバルトーカーキー実行委員会  
豊島区 / 公益財団法人 としま未来文化財団 / NPO法人アートネットワーク・ジャパン、  
アーツカウンシル東京・東京芸術劇場(公益財団法人東京都歴史文化財団)  
アジアシリーズ共催 国際交流基金アジアセンター  
協賛 アサヒグループホールディングス株式会社、株式会社資生堂  
後援 外務省、公益社団法人 日本芸術家演劇団体協議会、J-WAVE 81.3 FM  
特別協力 西武池袋本店、東武百貨店池袋店、東武鉄道株式会社、  
株式会社サンシャインシティ、東京都交通局、ジュンク堂書店 池袋本店  
協力 東京商工会議所豊島支部、豊島区商店街連合会、豊島区可委連合会、  
一般社団法人 豊島区観光協会、一般社団法人 豊島産業協会、  
公益社団法人 豊島法人会、池袋西口商店街連合会、  
特定非営利活動法人セファール池袋まちづくり、池袋西口公園活用協議会、  
南池袋公園をよくする会、ホテルメトロポリタン、ホテルグランドシティ、  
池袋ホテル会、サンシャインシティプリンスホテル  
株式会社ポスターハリス・カンパニー、早稲田大学坪内博士記念演劇博物館、  
有限会社アップリンク

平成30年度文化庁国際文化芸術発信拠点形成事業(豊島区国際アート・カルチャー都市推進事業)  
フェスティバルトーカーキー18は東京芸術祭2018の一環として開催されます。  
フェスティバルトーカーキー18は東京芸術祭2018の一環として開催されます。  
フェスティバルトーカーキー18は東京芸術祭2018の一環として開催されます。  
インターン 伊藤 舞、円城すみれ、木村 夏、小堀詠美、竹内明佳、堂前晶子、戸倉紀乃、中間志帆、  
中村風音、長谷川智美、前田麗奈、松本理沙、宮本日向子、村上理衣奈、山裏真紀子、吉澤 萌  
スペシャルサンクス: FTSサポーターのみなさま  
会期: 平成30年(2018年)10月13日(土) - 11月18日(日)



Festival/Tokyo Executive Committee  
Advisors: Man Nomura (Chair, Japan Council of Performers Rights & Performing Arts Organizations; Noh actor) Yoshiharu Fukuhara (Honorary Chair, Shiseido Co., Ltd.)  
Honorary President of the Executive Committee: Yukio Takano (Mayor of Toshima City)  
Chair of the Executive Committee: Shigeo Fukuchi (Advisor, New National Theatre Foundation; Senior Alumnus, Asahi Breweries, Ltd.)  
Vice Chairs of the Executive Committee: Sachio Ichimura (Director, NPO Arts Network Japan; Executive Director, Festival/Tokyo) Akira Saito (Director, Culture, Commerce and Industry Division, Toshima City) Akira Touzawa (Secretariat Director, Toshima Mirai Cultural Foundation)  
Committee Members: Motoki Ozaki (President, Association for Corporate Support of the Arts; Corporate Advisor, Kao Corporation) Sumiko Kumakura (Professor, Department of Musical Creativity and the Environment, Tokyo University of the Arts) Toshihiro Tanaka (General Manager, Corporate Culture Department, Shiseido Co., Ltd.) Atsuko Suzuki (General Manager, CSR Department, Asahi Breweries, Ltd.) Masami Suzuki (Chair, Tokyo Chamber of Commerce and Industry Toshima) Taeko Nagai (Chair, Setagaya Arts Foundation) Keisuke Watanabe (Director, Cultural Design Section, Culture, Commerce and Industry Division, Toshima City) Masato Kishi (Manager, New Theater Opening Preparation Room, Toshima Mirai Cultural Foundation) Naoko Hasuike (Toshima Mirai Cultural Foundation; Executive Director, Dwtspot Theater / Toshima Performing Arts Center) Akiko Yonehara (Representative, NPO Arts Network Japan) Kaku Nagashima (Director, Festival/Tokyo) Chika Kawai (Co-Director, Festival/Tokyo) Madoka Ashihara (Administrative Director, Festival/Tokyo)  
Supervisor: Mariko Tanaka (Director, General Affairs Section, General Affairs Division, Toshima City)  
Legal Advisors: Kensaku Fukui, Hisato Kitazawa (Koto Dori Law Office)

Festival/Tokyo Executive Committee Secretariat  
Executive Director: Sachio Ichimura  
Director: Kaku Nagashima  
Co-Director: Chika Kawai  
Administrative Director: Madoka Ashihara  
Production Coordinators: Mayuko Arakawa, Toshifumi Matsumiya, Yumiko Okazaki, Yuko Takeda, Wakana Arai, Yuuri Fujii, Takashi Osada, Shogo Shinomiya, Masao Yamagata  
Public Relations Director: Akiko Ogura  
Public Relations: Mami Kaminaga, Hironobu Hosokawa, Asumi Ueda, Yukie Yoshida  
Accounting: Kumiko Tsutsumi  
Administrators: Akiko Yonehara, Saki Hirata, Maki Fujishima  
Ticket Administration: Kazumi Takei  
Technical Director: Eiji Torakawa  
Lighting Coordination: Naoki Kinoshita (Factor Co., Ltd.)  
Sound Coordination: Akira Aikawa (Sound Weeds Inc.)  
Art Direction: Yoshio Ujije (Ujije planning office)  
Illustrations: Naomi Katsu  
Website: Masaya Takeshita (Ujije planning office), Mtime, Inc.  
Overseas PR, Translation: William Andrews  
Copywriting: Rieku Suzuki

Interns: Mai Ito, Sumire Enjoji, Natsu Kimura, Emmy Kobori, Moeka Takeuchi, Akiko Domea, Kino Tokura, Shiko Nakaaka, Kazane Nakamura, Satomi Hasegawa, Reina Maeda, Risa Matsumoto, Hinako Miyakoto, Riina Murakami, Makiko Yamazato, Moe Yoshizawa  
Special thanks to the FIT Volunteer Supporters  
Organizers: Festival/Tokyo Executive Committee, Toshima City, Toshima Mirai Cultural Foundation, NPO Arts Network Japan (NPO-ANJ), Arts Council Tokyo & Tokyo Metropolitan Theatre (Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture) Asia Series co-organized by the Japan Foundation Asia Center  
Sponsored by Asahi Group Holdings, Ltd., Shiseido Co., Ltd.  
Endorsed by the Ministry of Foreign Affairs, GEDANKYO, J-WAVE 81.3 FM  
Special cooperation from SEBU IKEBUKUROHONTEIN, TOBU DEPARTMENT STORE IKEBUKURO, TOBU RAILWAY CO., LTD., Sunshine City Corporation, Toei Transportation, Jankudo Ikebukuro  
In cooperation with Tokyo Chamber of Commerce and Industry Toshima, Toshima City Shopping Street Federation, Toshima City Federation, Toshima City Tourism Association, Toshima Industry Association, Toshima Corporation Association, Ikebukuro Nishiguchi Shopping Street Federation, NPO Zephyr, Ikebukuro West Gate Park Management, Neighborhood of the Minami Ikebukuro Park, Hotel Metropolitan Tokyo Ikebukuro, Hotel Grand City, Ikebukuro Hotel Association, Sunshine City Prince Hotel  
PR Support: Poster Hari's, Waseda University Tsoubouchi Memorial Theatre Museum, UPLINK  
Supported by the Agency for Cultural Affairs, Government of Japan in the fiscal 2018  
Festival/Tokyo 2018 is organized as part of Tokyo Festival 2018.  
Festival/Tokyo supports Culture City of East Asia 2019 Toshima.  
Period: October 13th (Sat) to November 18th (Sun), 2018

# ドキュメント Changes

チェンジズ

監督: 山本卓卓

2018  
11.13 Tue - 11.14 Wed

あうるすぽっと  
Owlsput Theater

# DOCU(NT)MENT Changes

Directed by  
Suguru Yamamoto



Tokyo Festival 2018

# 「才能という言葉をやめませんか」

監督：山本卓卓

私はこれまで才能という言葉に惑わされほだされ破滅していった数多くの演劇人（ダサイネーミングだとわかりつつ便宜的に）を見てきました。褒められれば嬉しいし、貶されれば落ち込んだり不満に思う。それはとても正直な生理反応だと思うし、次へのモチベーションにもなるのでしょう。たしかに、我々演劇人は、才能がなければ、やってゆけません。でも、才能のために何かを犠牲にしなければならない、といった「才能ある人かくあるべき」といった幻想にとらわれて破滅してゆく才能豊かな演劇人を私はたくさん目の当たりにしてきました。彼らはなぜ、才能があるのに辞めなければならないのでしょうか？

田中美希恵には才能があります。でも残念ながら私は彼女と演劇作品をつくることができなくなってしまいました。会社に置き換えて考えていただくと良いかもしれません。

## ドキュメント

2012年に範宙遊泳主宰の山本卓卓がスタートさせたソロプロジェクト。一人の人間に焦点を当て、その生い立ちから掘り下げて作品化する。

## 過去公演

まちなかパフォーマンスシリーズ「となり街の知らない踊り子」(F/T16)

せん。もちろん社員が会社を去る理由はさまざまでしょうが、いくらポジティブな退社だと本人が言い張っても、幾パーセントかはかならずネガティブな水脈が流れています。

私は、これが反論され鼻で笑われるだろうことを頭の片隅に置きながらも、ここで宣言させていただきたく思います。私は、演劇とは人間の行為以外のなにものでもない、のだと考えています。演劇とは、才能を披露する場でもなく特別な現象を見せる場でもなく、ただただ、人間的行為を見せる場、観ていただく場なのだ。この方法論に則して今作の映画は撮られました。そして、撮り続けていきます。我々がまた、演劇をつくれる日が来るまで、そしてそれを観ていただける日が来るまで。私と彼女が人間である限り。



Photo: amemiyayukitaka

## 劇作家・演出家

山本卓卓

映画・文学・音楽・美術など、さまざまな芸術ジャンルの教養を生かしつつ、現代社会の情報流通や倫理観の変化をビビッドに反映した劇世界を構築する。『幼女X』でBangkok Theatre Festival 2014 最優秀脚本賞と最優秀作品賞を受賞、「うまれてないからまだしねない」(2014年)、『その夜と友達』(2017年)で岸田國士戯曲賞最終候補作となる。

撮れた、と思うときがある。撮った、ではなくて、撮れた。撮った、ならばその主語は私になるのだろうか、撮れた、と思う時のその主語は誰なのか。撮影というのは監督や撮影者、被写体の各々の意思が入り乱れた結果だろうが、だからといって、撮れた、と思うそのときの主語が、みんな、というわけでもなさそうだ。

北海道の方言に「さる」という助動詞がある。ボタンが押ささった、みたいにする。意味は「(勝手に)ボタンが押されてしまった」という感じ。ところが、北海道の人はその翻訳では不十分だと思っている。ボタンを押しているのが私であっても私の意思はそこにはない、体は確かにボタンを押しているけど私が押しているわけじゃない！ そういうニュアンスこそが「さる」の本質だと思う。

ドキュメンタリーかフィクションかという問いは、どうやら映画というメディア自体が生まれたときから存在したようだ。だからもちろん、このドキュメントもその問いを内包している。でも、なにはともあれ事がおきないと撮影はできず、だから撮影したものが起きたことであることは間違いないのだから、ここではちょっと問いをズラして考えてみたい。つまり、誰が撮ったのか。これに対する私の答えは、撮ったか、撮れたか、ではなく、撮らさった。これはそういう映画だ。

須藤崇規（映像統括・録音）

通常、映画は作品が完成された状態から、上映に向けて準備が始まる。予告編やCMが作成され、おススメコメントなどが溢れる。演劇に比べて観客が事前に手にする情報量が多い。正直、羨ましいと思っていた。開演直前まで台詞の変更もあるし、大きく演出プランが変わり事前にアナウンスしていた上演時間と大幅なズレが生じることもある。その緊張感や演劇ならではの、たまには違うことにも挑戦してみたかった。しかしながら、私たちはどうしたって演劇を創るように創作を続けた。

本作は、この上映（上演・公演）が独立してあるのではなく、ゆるやかに2ヶ年をかけて観客の元へ届ける仕掛けになっている。便宜上、今年の夏から秋にかけて撮影・編集された本作を「シーズン1」と呼ぶ。

## 『Changes (チェンジズ)』

監督：山本卓卓

出演：田中美希恵

映像統括・録音：須藤崇規  
カメラマン：中里龍造、樋口勇輝、佐々瞬  
撮影アシスタント：小西 楓

音楽：大野希士郎  
衣裳・メイク：白井梨恵

制作：加藤弓奈（急な坂スタジオ）、荒川真由子（フェスティバルトーカー）  
インターン：円城寺すみれ、小堀詠美、山里真紀子

製作：フェスティバルトーカー  
共同製作：ドキュメント、急な坂スタジオ  
主催：フェスティバルトーカー



最初は11月の頭、「映画の試写会」形式で関係者向けに発表された。そして、「上演」形式で皆さんにご覧いただいている。今後改めて「映画館での上映」を経てwebでの「動画配信」を予定している。そして、その間も来年の公開にむけ「シーズン2」の撮影は進行していく。

フェスティバル期間外にも観客が作品を鑑賞する事が出来るというのは、大きな挑戦だと思う。そして、公開される度に小さな「Changes」が起きるはずだ。それは作品そのものにかもしれないし、私たちを取り巻く環境にかもしれない。そして、あなた自身にも。

加藤弓奈（制作、急な坂スタジオ ディレクター）

## "Changes"

Directed by Suguru Yamamoto

Cast: Mikie Tanaka

Sound & Director of Photography: Takaki Sudo  
Camera Operators: Ryuzo Nakazato, Yuki Higuchi, Shun Sasa  
Shoot Assistant: Kaede Konishi  
Music: Kishiro Ohno  
Costumes & Makeup: Rie Usui

Production Coordinators: Yumina Kato (Steep Slope Studio),  
Mayuko Arakawa (Festival/Tokyo)  
Interns: Sumire Enjoi, Emi Kobori, Makiko Yamazato

Produced by Festival/Tokyo  
Co-produced by DOCU(NT)MENT, Steep Slope Studio  
Presented by Festival/Tokyo

